

都市計画マスタープラン・ 緑の基本計画アンケート結果

将来の住み良いまちづくりのための設計図である「都市計画マスタープラン」と緑化の推進等の総合的な計画である「緑の基本計画」の中間見直しを行うに当たり、昨年末に町民アンケートを実施し、結果がまとまりましたので、報告します。

◆都市計画マスタープランとは？ 緑の基本計画とは？

都市計画マスタープランは、幕別地域に位置付けのある都市計画区域における将来の都市計画の方向性を示すものであり、住民の方々の意見を反映させた都市計画に関する基本的な方針を定めたものです。

また、緑の基本計画は、幕別町全体に関わるものであり、住民の方々の意見を聞きながら、将来の緑地の保全や緑化の推進に関する目標と、その実現のための施策の方向性を示したものです。

幕別町では、平成15年に「幕別町都市計画マスタープラン」を平成16年に「幕別町緑の基本計画」策定しました。策定した時と比べると、少子高齢化の進展や旧忠類村との合併など社会が大

きく変化しており、現在の社会情勢に応じた計画としていくため、平成23年度末に公表できるよう、平成22年～23年の2カ年で見直しを進めています。

◆アンケートの概要

まちづくりに対する町民の皆さまの意見をお伺いし、都市マスターと緑の基本計画見直しの基礎資料とするために、幕別町にお住まいの全町民から2150世帯を無作為に選んで、町民アンケートを実施し、980世帯(回収率45.6%)の皆さまから、回答がありました。

アンケートの内容は平成13年に実施したアンケート結果と比較ができるようにし、大別すると、「現状に対する満足度」「将来よりよいまちになるために必要なこと」「2つの市街地に求めら

れるまちの機能」の3つの内容となっております。

◆現住地区の住みやすさ

いまお住まいの地区の「住みやすさ」について回答していただきました。「非常に住みやすい」「まあ住みやすい」と答えた人が全体の9割となっており、総体的には、多くの人が幕別町を住みやすいと感じていると言えます。前回アンケートと比べても大きな変化はありませんでした。

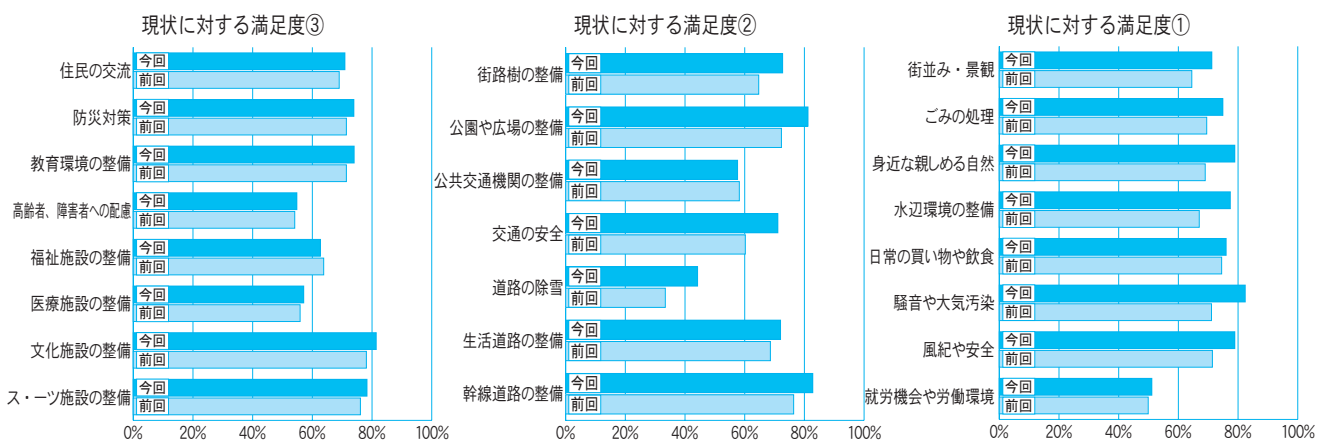
◆現状に対する満足度

現在お住まいの地区で、都市計画に関連すると思われる23の項目について、満足度を答えていただきました。

比較的満足度の高かった項目は、「幹線道路の整備」「騒音や大気汚染」「公園や広場の整備」「文化施設の整備」です。

一方、「道路の除雪」「就労機会や労働環境」「高齢者、障害者への配慮」が、比較的低い満足度となっております。

前回の結果と比較しますと、「道路の除雪」について、満足度が10%以上増えていました。



◆より良いまちになるために必要なこと
■全体

将来、幕別町がより良いまちになるために必要なこととして、7つの項目を、必要だとする順に選んでいただきました。グラフは必要度を点数に置きかえて、その割合で作成しています。

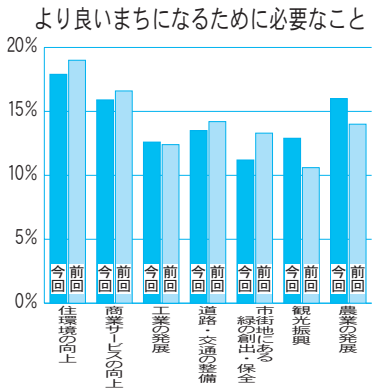
※点数化の方法

必要度の低いものから1点、2点……とし、回答者数を掛けて、点数としています。

最も必要度が高いと思われるのは「住環境の向上」「商業サービスの向上」です。前回アンケートと比べてみると、「市街地にある緑の保全・創出」は下がっており、「観光振興」や「農業の発展」が上がっています。

■項目別

項目ごとに、必要だと思ふ事項を順に並べていただきました。こちらも必要度を点数に置きかえて、その割合で作成しています。

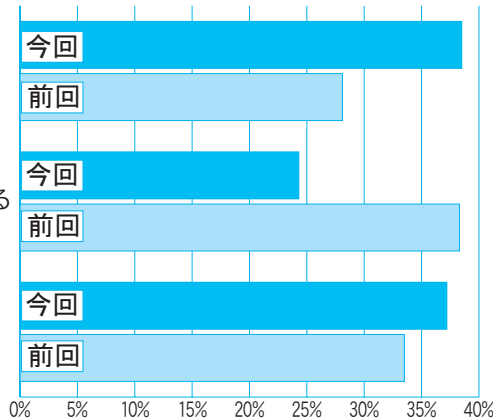


○住宅地の拡大と既存市街地整備について

全体の8割以上の人が①と③の必要度が高いと答えています。前回アンケートと比べると、①と②の必要度が逆転しており、現状の住宅地の環境整備が必要であると考えられます。

住宅地の拡大と既存市街地整備について

- ①市街地内の空き地、空き家対策を図る
- ②幹線道路沿いに新たな住宅地を開発する
- ③市街地の拡大はせずに、いまある住宅地の住環境を向上させる

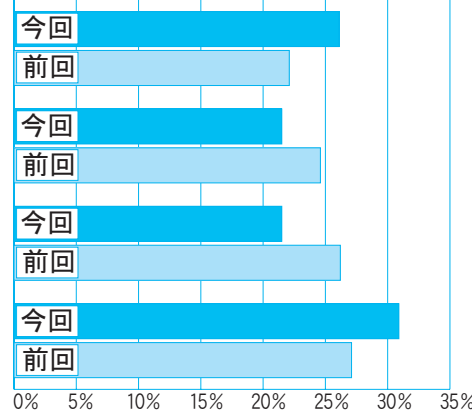


○商業サービスについて

④が最も必要度が高く、次いで①が高くなっています。前回アンケートと比べると、約4割の人が③を最も必要度が低いと回答しており、大きく変わっています。

商業サービスについて

- ①駐車場の整備などを行い、駅周辺商業地の活性化を図る
- ②中高層住宅などを作り、商業地周辺の人口を増やす
- ③大型商業施設が必要である
- ④住宅地の近くに日常的な買い物ができる商業地を作る

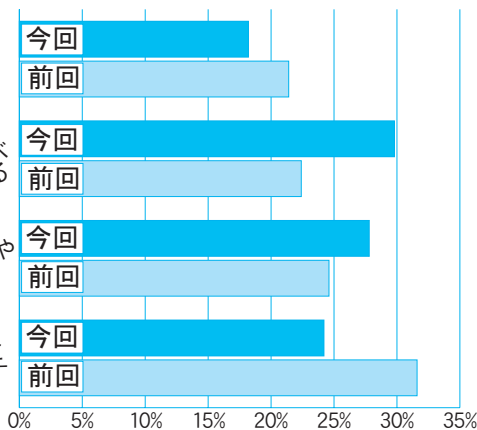


○市街地の緑のあり方について

②を一番必要度が高いと答えた人が4割でした。前回と比べても、②が重要と答えた人が大きく増えました。

市街地の緑のあり方について

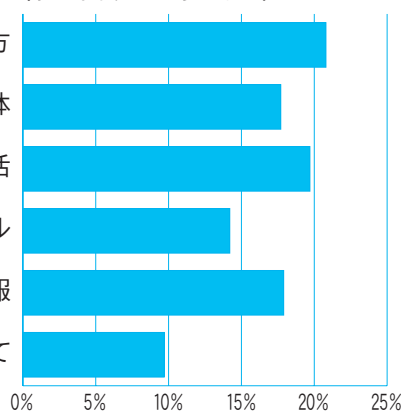
- ①周辺に十分な緑があるので、市街地の中に積極的に緑は取り込まない
- ②緑や水辺を取り入れる場合には、なるべく管理に手間のかからない方法を考える
- ③住民の参加も促しながら、空き地の緑化や動植物にふれあえる場所の整備を進める
- ④自然の動植物との共生を重視し、場合によっては人間社会優先の考え方を見直す



○緑に関する施策について

①が最も必要度が高いと答え
た人が3割以上でした。
②、③、⑤など住民参加型の施
策についても高い必要性がある
という結果になりました。

緑に関する町の施策について

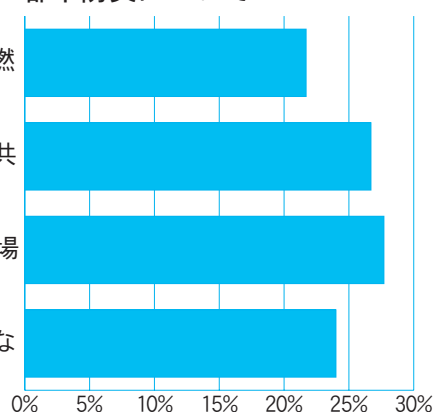


○都市防災について

③、②を必要性が高いと答え
た人が多いですが、どの項目に
ついて平均した必要性の高さ
が見られました。

都市防災について

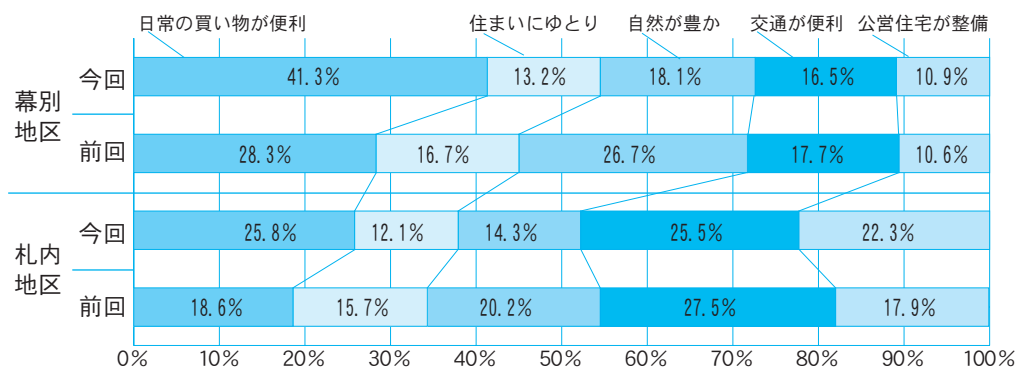
- ①防災に配慮(耐震化、不燃化)した建築物にする
- ②避難場所となっている公共施設を耐震構造にする
- ③災害時の避難経路や避難場所を確保する
- ④大雨の時、河川が氾濫しないようにする



◆2つの市街地に求められるまちづくりの機能

幕別町にある2つの市街地については、将来的に幕別町第5期総合計画に示されているように、それぞれ個性的なまちづくりを推進していきます。
そのためそれぞれのまちづくりに必要な機能をお伺いしました。
幕別地区に関しては、「日常にお買い物の利便性」の必要度が最も高いと答え、次いで「自然

マスタープランに追加する内容



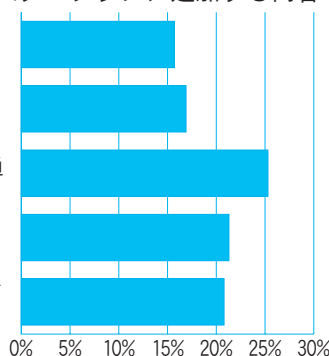
の豊かさ」、「交通便利性」となっています。
札内地区に関しては、「日常の買い物の利便性」と「交通の利便性」がほぼ同じ割合で、最も必要と答えられた人がいました。次いで「公営住宅の整備」となっています。

◆マスタープランに追加する内容

都市計画マスタープランを見直すにあたり、どのようなことに重点をおいて追加していくかを必要と思う順に選んでいただきました。

マスタープランに追加する内容

- ①人口減少に対応したまちづくり
- ②移住・定住による人口増加を考えたまちづくり
- ③少子高齢化・環境問題に対応し公共交通の利用や歩いて暮らしやすいまちづくり
- ④市街地を活性化するまちづくり
- ⑤農業などの基幹産業を活性化するまちづくり



最も必要度が高いと思われるのは「少子高齢化・環境問題に対応した公共交通の利用や歩いて暮らしやすいまちづくり」です。

◆問い合わせ先 都市計画課 係(☎)幕54-6621